

第2回 運営と利用方法を考える会



1 ごあいさつ

南小校区共生ステーションの運営と利用方法を考える会を令和3年8月19日（木）と21日（土）に開催しました。

前回（第1回）の「考える会」では、「考える会の進め方」について話し合いをしました。その中で、「現在の運営方法から課題を出して、考えていこう！」ということになり、第2回では、皆様も持っている「課題」について出してもらい、話し合いをしました。市役所も耳が痛～いところもありましたが、とても活発な意見がでて、時間が足りないと言ったお声もありました。

2 前回（第1回）のふりかえり

「考える会」の進め方について話し合い。

⇒「現在の運営方法から課題を出して、考えていこう！」

3 第2回「考える会」の目的

みんなが持っている「課題」をだしあい、課題の内容を共有する。

3 第2回 話し合った内容

みんなが持っている・感じている共生ステーションの「課題」を出し合い、課題の内容を共有しました。

ステーションが知られていない

- ・ステーションは誰でも利用できるが知られていない。
- ・ボランティア団体の存在を把握し、ステーションで活動してもらおう。
- ・ポスティング等の周知活動が必要
- ・PTAなど子育て世代が活動の拠点にしてくれれば、ママ達の口コミが広がる。

会議室の利用方法

- ・会議室が予約できないと団体のメンバーを集められない・活動できない。月に1回は予約できる方法にしてほしい。

5 次回の話し合う内容

みんなの学校	集まらない人が集まる場	みんなの生きがいの場	「人」・「情報」が集まる場	助けてと言えない人に気づけまち
・市民が先生（講習・研修）	・大人が集まる ・子どもの視点 ・意見 ・周知	・防災（避難所） ・防犯 ・公園メンテナンス（ゴミ拾い等）	・個人ニーズに合った情報提供	・住民サポート（コロナ、貧困）



共生ステーションの各部屋の使い方・運営はどんな方法がいい？